

通し番号	3738
------	------

分類番号	12-6B-22-04
------	-------------

(成果情報名) 系統豚(W)の維持に関する試験	
<p>[要約]</p> <p>平成4年度の維持開始から9年目を終えた系統豚カナガワヨークは、血縁係数や近交係数の上昇を抑制しつつ良好に推移している。さらに維持集団の繁殖成績も例年一定し、近交退化現象も認められない。系統造成時に改良された遺伝的能力もよく維持されている。年間平均販売頭数は100頭前後で推移し、県内で生産される肥育豚の約1割にカナガワヨークが貢献していると推定される。</p>	
(実施機関・部名) 畜産研究所・畜産工学部	連絡先 046-238-4056

[背景・ねらい]

平成4年度に系統豚として認定され、維持に入ってから9年を経過したカナガワヨークについて、集団の近交係数、血縁係数の上昇を抑制しつつ、改良された高い能力を保持することを目的とする。

[成果の内容・特徴]

維持の状況

(1) 飼養頭数、生産頭数

生産子豚頭数は625頭となり、平成11年度より76頭少なかった。離乳頭数では613頭と例年並であった。

(2) 血縁係数、近交係数、遺伝的寄与率変動係数の推移

平成12年度では血縁係数が25.890、近交係数で10.087、遺伝的寄与率変動係数0.721であり、この上昇率はほぼ横ばいないし漸増で例年と変わりなかった。

(3) 繁殖能力調査結果

生産子豚頭数は平成12年度は9.97頭、離乳頭数8.76頭でほぼ例年並であった。

(4) 産肉能力調査結果

おおむね例年と同様の結果を得た。

(5) 体型調査結果

例年と比較して特に大きな差は見られなかった。

[成果の活用面・留意点]

系統造成時に改良された遺伝的能力を保持しながら維持している。また、血縁係数、近交係数等の係数の上昇を効果的に抑制しながら維持しているので今のところ近交退化の現象も見られない。年間販売頭数は年平均100頭となっており、県内肉豚生産に大きく寄与している。

[ 具体的データ ]

表 1 血縁係数、近交係数及び遺伝的寄与率変動係数

	系統認定時	平成4年度	平成5年度	平成6年度	平成7年度	平成8年度	平成9年度	平成10年度	平成11年度	平成12年度
血縁係数	21.69±6.33	21.81±9.19	22.00±8.92	22.52±9.06	22.29±8.53	23.47±8.55	24.58±7.29	25.96±7.29	26.09±8.27	25.89±8.12
近交係数	8.71±0.87	8.74±1.02	8.79±1.07	8.62±1.05	8.36±1.01	8.36±0.81	8.72±0.99	9.19±1.35	9.84±2.72	10.62±2.59
遺伝的寄与率	-	0.020	0.054	0.259	0.249	0.631	0.729	0.788	0.840	0.721
変動係数										

表 2 繁殖能力調査成績

年 度	4	5	6	7	8	9	10	11	12
分娩種雌豚(頭)	65	64	72	67	63	66	69	70	64
一腹平均									
生産子豚頭数	10.26	10.43	9.14	8.28	9.84	10.11	10.91	10.01	9.77
哺乳開始頭数	10.18	10.40	9.11	8.27	9.71	9.68	10.68	9.66	8.76
離乳頭数	9.12	9.30	8.00	7.09	8.52	8.67	8.60	8.64	7.53
育成率(%)	88.9	89.2	87.5	85.6	86.6	85.8	81.0	80.1	86.0
子豚平均体重(%)									
生時	1.29	1.41	1.38	1.36	1.40	1.38	1.40	1.311	1.35
21日齡	5.96	6.36	5.75	5.72	5.70	5.35	5.34	4.988	5.39
56日齡	18.3	20.1	19.1	19.7	17.1	17.4	17.6	17.47	17.8

表 3 産肉能力調査成績

	平成4年度	平成5年度	平成6年度	平成7年度	平成8年度
一日平均増体重(g)	913.4 ±111.7(20)	765.3 ±66.9(6)	768.6±59.5(13)	692.9±131.4(9)	750.0±114.8(11)
(30~100g)	810.1±80.7(47)	731.0±51.2(11)	727.9±66.7(10)	697.6±96.9(11)	789.1±63.8(10)
背脂肪の厚さ(cm)	2.30±0.38(15)	1.89±0.36(6)	1.96±0.39(13)	1.70±0.18(9)	1.85±0.38(10)
(1/2体長)	2.42±0.36(47)	2.09±0.38(11)	1.98±0.30(19)	2.06±0.22(11)	2.33±0.43(10)
口ス断面積(cm <sup>2</sup> )	38.7 ± 3.9(15)	34.2±3.0(6)	30.8±3.7(13)	30.8±2.6(9)	30.0±2.19(10)
(1/2体長)	38.8 ± 4.2(47)	33.3±5.0(11)	31.8±4.1(10)	31.4±2.2(11)	29.0±2.49(10)
100g到達日齡	145.4±13.26(15)	160.5 ±12.5(6)	158.2±8.55(13)	178.3±16.3(9)	167.0±17.6(11)
	157.0±12.42(47)	164.6 ±11.27(11)	164.3±11.58(10)	175.4±20.1(11)	161.5±10.8(10)

  

	平成9年度	平成10年度	平成11年度	平成12年度
一日平均増体重(g)	743.2 ±78.9(35)	721.9 ±63.7(6)	780.0±68.49(11)	768.3±123.38(13)
(30~100g)	722.1±74.1(27)	700.7±50.2(16)	745.5±67.24(9)	789.0±100.17(12)
背脂肪の厚さ(cm)	1.82±0.30(35)	2.28±0.30(6)	1.94±0.36(11)	2.06±0.35(13)
(1/2体長)	2.18±0.34(27)	2.07±0.27(16)	2.05±0.20(9)	2.30±0.50(12)
口ス断面積(cm <sup>2</sup> )	31.5 ± 2.18(35)	30.8±0.33(6)	31.3±2.59(11)	29.1±1.47(13)
(1/2体長)	31.0 ± 2.57(27)	31.0±2.13(16)	30.8±3.08(9)	29.2±2.84(12)
100g到達日齡	166.7±13.61(35)	164.3 ±18.18(6)	152.6±12.19(11)	161.3±21.82(13)
	169.3±10.48(27)	168.3 ±17.6(16)	162.1±112.16(9)	159.9±15.42(12)

注：( )内は調査頭数

[ 資料名 ] 平成 1 2 年度試験研究成績書 ( 繁殖工学・養豚 )

[ 研究課題名 ] 系統豚 ( W ) の維持に関する試験

[ 研究期間 ] 平成 1 2 年度

[ 研究者担当名 ] 青木 稔・峰崎洋通・仲沢慶紀・矢後啓司